

2020年6月吉日

協力業者 各位

藤木サッシ 株式会社
代表取締役社長 荒井 義雄

安全大会中止のご案内

入梅の候、貴社益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は労働災害の防止に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も7月に安全大会の開催を計画しておりましたが、新型コロナの第二派流行が懸念される中、皆様と社員の安全を考慮し本年度は中止することと致しました。

その代わりに、皆様と安全意識を共有し、災害撲滅活動に繋げるべく、基本的な事項の書面を添付致しましたので一読いただき、皆様と協力して災害の撲滅に努めたいと思っております。

今後共、宜しく願い申し上げます。

尚、安全大会終了後の恒例の納涼会につきましても、中止とさせていただきます。

添付資料

- 1・ 安全方針
- 2・ 安全衛生管理計画
- 3・ 安全衛生管理組織図
- 4・ 災害発生時の留意事項
- 5・ 安全宣言

以上

安全方針

「災害は必ず無くせます」

発生した災害を分析すると、必ず3~4つの原因が重なって起きています。
今まで怪我をしていない人は、運よく「もう一つの原因」が重なっていなかったかも知れません。

※スローガンで災害は無くせない！！

災害を無くすとは、その原因の一つを取ることで、皆さんの具体的な行動が必要です。

「具体的な行動の例」

- ①交通災害撲滅・・・10分早く出て、車間距離を十分に取り、ゆとりで運転する。
- ②転倒災害撲滅・・・足元が見えない機材の持ち方をしない。(現場の状況は刻々と変化している)

記

1・規則は必ず守る

人は自分の経験から行動しがちですが、一人が経験できることは限られています。
規則は、先輩達が痛い・辛い思いをして、我々に残してくれた怪我を防ぐ教訓です。
我々がそれを活用し、進化させ、後輩に受け継いでいく義務を背負っています。

2・保護具は確実に使う・・・人は飛べない、人の皮膚は弱い、だから守るものが必要

- ①安全帯は確実に使う :安全帯のフックは、こまめに・確実にかける。
- ②必ず手袋を着用 :指をはさむ・切るも多い災害、こまめに手袋を着用する。
- ③安全靴の踏抜防止中敷き :13φ鉄筋を踏み抜いた事例あり、当社では装着が義務です。
- ④ゴーグル・防塵マスクを付ける :電動工具使用時は必ず(グラインダーがはね、自分の顔を切った事例あり)

3・「一仕事、一片付け」・・・5Sの整理・整頓が身を守る

- ①地震は必ず起こる・・・散らかった作業場では、命を守れません。
// 製品の転倒・飛散を遅らせ、避難時間を確保する。
- ②綺麗な作業場では、間違いなく仕事はかどります。

4・仲間の声掛け

人は無意識に、必ず近道行動をします。
「ついっっかり」を正すことは、仲間にしかできません。
仲間からの声掛けには「災害の芽を摘んでもらった」と感謝し、行動を正しましょう。

以上

2020年度 安全衛生管理計画

安全方針：災害は必ずなくせます

安全目標：年間無災害達成

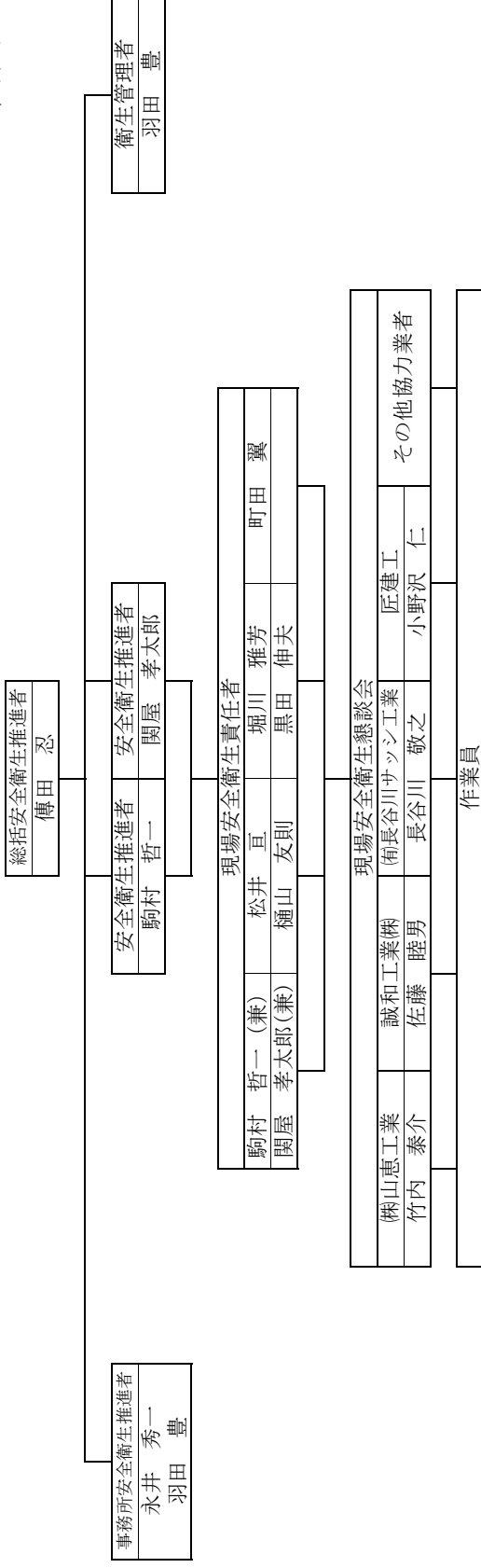
基本実施事項	
1	規則は必ず守る
2	保護具は確実に使う
3	一仕事、一片付け
4	仲間の声掛け

具体的実施事項	
1	<ul style="list-style-type: none">・現場のルールは必ず守る・近道行動は絶対に行わない
2	<ul style="list-style-type: none">・高所作業では安全帯を着用しフックを確実にかける・踏み抜き防止インソールを全作業員が装着する・作業に見合った手袋を着用する・電動工具使用時はゴーグル・防塵マスクを装着する
3	<ul style="list-style-type: none">・整理：不要なものは作業場から早期に現場より搬出する・整頓：資材や道具の置場を決め、探す手間をなくす・清掃：汚れを取って異常を確認し、異常を修繕する・清潔：プロとしての仕事に向合う心を磨く・躰け：規則を守る
4	<ul style="list-style-type: none">・大きな声であいさつをする・自分の行動は自分で見えない為、仲間同士で声掛けし作業を行う・「段差なし」「フックよし」と声に出し、安全意識の高揚に努める

具体的な実施方法	
1	送り出し教育を行い作業員に浸透を図る
2	朝礼にて啓蒙する
3	毎月の安全協議会で実施状況の確認と改善を図る
4	事業主パトロールにて指導を繰り返す

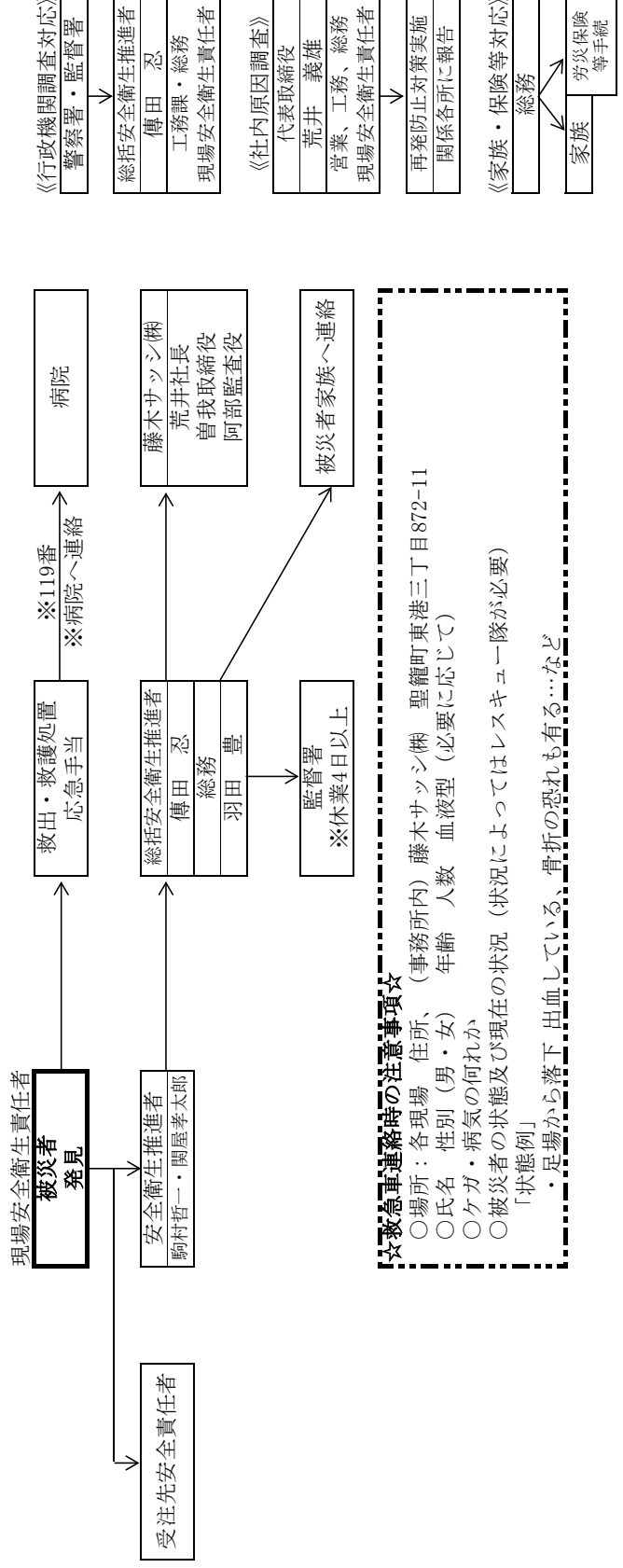
安全衛生管理組織図

2020年6月1日



労働災害発生時処置要領「現場」

【救急・通報・調査・事故処理・・・誰が何をやるか？】



☆救急車連絡時の注意事項☆

- 場所：各現場（事務所内） 藤木サッシ(株) 聖籠町東港三丁目872-11
- 氏名 性別（男・女） 年齢 人数 血液型（必要に応じて）
- ケガ・病気の何れか
- 被災者の状態及び現在の状況（状況によってはレスキュー隊が必要）
「状態例」
・足場から落下 出血している、骨折の恐れも有る…など

留意事項『現場』

2020年4月1日

目的	◎突発的、異常事態である「事故発生」時に適切に対処する為、基本的パターンを示したものである。 ◎関係者は連携を良くし、迅速、的確に対処する事。
発見者等	◎発見者は近辺の応援を求め、協力者、支援者と手分けをして迅速な処理にあたる。 ◎管理者は現場に急行し、指揮を執る。
救急処置	◎救出。2次災害に留意。救急用具、担架・AED（平時に場所の確認を）の手配 ◎救急処置－救急処置法に準じて行う。（サッシMBR→総務経理→応急手当マニュアルpdf参考）
通報・連絡	◎「どこで」「だれが」「どうなった」（いつ）（どんな事故）（負傷の程度）（誰に聞けばわかる）等 ◎「乗用車での搬送が適当でない状態の場合」救急車を要請する。（救急車は自動的に警察へ連絡される）
救急搬送	◎自家用車で搬送の時は、病院への事前の手配を十分に行う。
現場保存	◎救出、被害拡大防止のほかは、出来るだけ現場の状況を変更しない。 ◎作業再開（現場変更）には警察・監督署の了解を得る。
監督署通報	◎死亡又は休業4日以上災害、及び重大災害（一時に3人以上の労働者が業務上死傷又は罹病した災害：不休も含む）。重大な事故が発生した場合（火災又は爆発、クレーン等の倒壊など）通報する。
調査対応	◎警察・監督署の調査では、発見者等状況のわかる者の立会い、資料等（負傷者の従業員名簿、工事配置図、職制図、事故の機械の図面等）の提出を求められる為 誠意に対応する。
社内調査	◎負傷者の搬送、警察等の調査後（状況により並行）実施（写真は早期に）。直接見聞きした者から聴く。 ◎事実の収集（責任の所在把握でなく）。原因把握、対策樹立に必要な資料収集。
再発防止	◎総括安全推進者の下、再発防止策を定めて実施する。
その他	◎5号用紙は、救急車の場合は「会社名、保険番号、負傷者名」程度メモして取敢えず提出。 ◎診断書は早期に交付申請。 ◎社内の「事故・災害発生報告書」を早期に作成【速報】して関係者に報知することにより再発防止の徹底を図る。 （サッシMBR→総務経理→事故・災害報告書x1s）

☆病院☆

病院名	電話番号	所在地
新発田病院	0254-22-3121	新発田市 本町 1-2-8
北越病院	0254-26-1010	新発田市 緑町 2-20-19

※自家用車で搬送する場合は、病院への事前連絡を十分に行う事。

☆夜間・休日連絡先☆

氏名	電話番号①
荒井 義雄	090-3145-7671
傳田 忍	080-9203-9203
永井 秀一	090-2742-1220
小菅 純一	080-3192-0321
関根 幸夫	090-4959-5907
佐藤 正和	090-4745-1012
伊藤 彩花	025-256-2116
羽田 豊	025-256-2116
樋浦 宏	080-8918-8844
関屋 孝太郎	090-7417-1935
駒村 哲一	080-2301-8055
樋山 友則	090-3476-3147
松井 亘	080-1322-6619
町田 翼	080-8738-0583
黒田 伸夫	070-4102-4245
堀川 雅芳	080-2599-4923

保安・安全管理等責任者選任一覧表

名称	根拠	資格・届	氏名
総括安全衛生推進者	労安12	地位権限	傳田 忍
安全衛生推進者	労安12	学歴経験	駒村 哲一
安全衛生推進者	労安12	学歴経験	関屋 孝太郎
第一種衛生管理者	労安12	資格	羽田 豊
安全衛生責任者 教育受講者	労安19	講習	永井 秀一
			小菅 純一
			佐藤 正和
			樋浦 宏
			関屋 孝太郎
			駒村 哲一
			樋山 友則
			松井 亘
			町田 翼
			黒田 伸夫
交通安全運転管理者	道交法74-2	経験・届	羽田 豊
防火管理者	消防法8	講習・届	規模により不要
雇用管理責任者	建雇5	研修	規模により不要

安全大会宣言

私たちは、社長の安全方針「災害は必ずなくせます」の下
年間無災害達成を目標に掲げ 鋭意取り組んでいるところです。

今年の全国安全週間のスローガンは

“エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスク低減”

となっており、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進
と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的
とすると示されております。

この全国安全週間を契機に、安全衛生活動を更に向上させ、より
安心して働ける職場を創ることにより、企業之力・家族の安心の向上に繋
ぐべく皆で知恵を出し合い、強い意志と粘り強さで積極的に活動していく
ことを、ここに宣言致します。

2020年6月吉日

藤木サッシ株式会社 安全大会